

F☆☆☆☆

つや有合成樹脂エマルジョンペイント

DNTビューシリコン



低汚染性

優れた作業性

多用途

快適・安全な
塗装環境

用途

建築物の外部壁面のコンクリート・モルタル・各種ボード・木部、屋外鉄部の
新設及び塗り替え ※上記以外の用途に使用される場合は弊社にお問い合わせ下さい。

容量

15kg、4kg

色相

白、各色

光沢

つや有り・7分つや・5分つや・3分つや

大日本塗料株式会社

塗料性状

項 目		内 容		
容姿		一液性		
荷姿		15kg、4kg		
色相		白、各色		
光沢※2		つや有り、各つや(3分つや以上)		
密度(23℃)	塗 料	1.21±0.05 (白・淡彩色)		
	揮発分	1.00		
粘度(23℃)		85～110KU		
加熱残分		40%以上 (白・淡彩色)		
乾燥時間	温 度	5℃	20℃	30℃
	指 触	45分	15分	10分
	半硬化	2時間	25分	20分
標準膜厚		25～30μm/回		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界(下限～上限)		SDS参照		

標準塗装仕様

①モルタル・コンクリート面の平滑仕上げ（新設および塗り替え）

工 程	商品名	塗り回数(回)	色 相	混合比率(重量比)	塗装方法	希釈率(%) (重量比)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗装間隔(20℃)
1 素地調整	1.ワイヤブラシ・サンドペーパーなどを用いて、劣化塗膜、汚れや油分などの付着物を除去し、乾燥した清浄面とする。 2.全面目粗しを行う。							
2 下塗り	マイティー万能水性シーラー	1	白 クリアー	主剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー	水道水 0～10	0.10～0.12	4時間以上
	又は				エアレス	水道水 0～20	0.12～0.15	7日以内
	水性マイティーシーラーマルチ	1	クリアー	—	刷毛・ローラー	無希釈	0.11	2時間以上
					エアレス		0.13	1ヶ月以内
3 上塗り	DNTビューシリコン	2	各色	—	刷毛・ローラー	水道水 5～10	0.10	2時間以上
					エアレス	水道水 10～20	0.12	

②屋内鉄部（新設および塗り替え）

工 程	商品名	塗り回数(回)	色 相	混合比率(重量比)	塗装方法	希釈率(%) (重量比)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗装間隔(20℃)
1 素地調整	1.ワイヤブラシ・サンドペーパーなどを用いて、さび・劣化塗膜、汚れや油分などの付着物を除去し、乾燥した清浄面とする。 2.全面目粗しを行う。							
2 下塗り	マイティー万能水性シーラー	2	白	主剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー	水道水 0～10	0.10～0.12	4時間以上
					エアレス	水道水 0～20	0.12～0.15	7日以内
					刷毛・ローラー	水道水 5～10	0.10	2時間以上
3 上塗り	DNTビューシリコン	2	各色	—	エアレス	水道水 10～20	0.12	

※ 人が触れる箇所、常時物が置かれる箇所は使用を避けて下さい。

施工上の注意

【素地調整に関わる注意】

- 新しいモルタルやコンクリート面の養生は十分に行って下さい。原則として3週間以上が適当です。
含水率10%以下、pH10以下で塗装して下さい。
- 旧塗膜の浮きや有害な付着物は、高圧洗浄機やワイヤブラシ・皮スキ・ケレン棒などで完全に除去してから塗装して下さい。処理が不十分な状態の塗装は、塗膜のはく離、つやの低下などの原因となります。
(判定方法：乾燥後ガムテープを貼り付け、強く引っ張って剥がし、素地が剥がれないことを確認して下さい。)
- チョーキング面は、高圧洗浄機(15MPa(150kg/cm²)以上)で入念に洗浄し、劣化塗膜や粉化物を除去して下さい。
- 洗浄後は、1日以上乾燥させて下さい。また、素材表面が雨・露などで濡れている場合は、十分に乾燥させてから塗装して下さい。乾燥が不十分な状態での塗装は、はく離・ふくれ・割れ・つやの低下などの原因になります。
- さびの発生部ではワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去を行い、十分な素地調整をして下さい。
- こみ・埃・砂・油・ワックスなどが付着している場合は、ハジキや付着不良の原因となりますので、完全に除去して下さい。
- 旧塗膜に発生したかび・藻などは必ず除去し、清浄面として下さい。
- 塗り替え工事の際、下地の浮きには事前に樹脂の注入を行って下さい。

【塗装に関わる注意】

- 結露しやすい地域や季節には塗装時間に注意し、早めに塗装を終えて十分な乾燥時間を確保して下さい。
- 屋外での塗装の際は天候を確認し、降雨・降雪のおそれがある場合および強風時は塗装しないで下さい。
- 本製品は建築塗料です。本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 飛散防止のため、必ず養生して下さい。
- 塗装後約24時間以内に乾燥不十分な状態で、降雨・結露が起こるおそれがある場合、または高湿度・低温になる場合、通風のない場合には、はく離・ふくれ・割れ・白化・シミなどが発生するおそれがありますので、塗装をしないで下さい。
- 本商品は水道水で希釈しますが、所定以上に希釈しないようにして下さい。過剰な希釈をすると、本来のつやが出なくなる可能性がありますので、必ず規定の希釈率を守って塗装して下さい。
- 吸い込みの激しい素材の場合は、下塗り回数を増やして下さい。
- 塗料は電動ミキサーを使用して十分に攪拌し、内容を均一にして塗装して下さい。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上で結露のおそれがある場所、また換気の悪い場所では塗装しないで下さい。
- 金属面で素地の露出がある部分については、下塗りの補修塗装を行って下さい。

使用上の注意

取扱いには下記の注意事項を守って下さい。 ※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分して下さい。
- 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、砂等を散布したのち処理して下さい。①

※本チラシ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。 ※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所	☎ 03-5710-4501	☎ 144-0052	東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所	☎ 011-822-1661	☎ 003-0012	札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所	☎ 022-288-8866	☎ 984-0011	宮城県仙台市若林区六丁の目西町8-1 (富喜センタービル)
北関東営業所	☎ 0480-26-5111	☎ 346-0003	埼玉県久喜市久喜中央1丁目5-18 (辻屋ビル)
新潟営業所	☎ 025-244-7890	☎ 950-0912	新潟市中央区南世口1-1-54 (日生南世口ビル)
千葉営業所	☎ 043-225-1721	☎ 260-0015	千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見/バイネスビル)
神奈川営業所	☎ 042-786-1831	☎ 252-0233	相模原市中央区鹿沼台1-7-7 (トラスト・テック相模原ビル)
静岡営業所	☎ 054-254-5341	☎ 420-0857	静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

●西日本販売部

大阪営業所	☎ 06-6266-3116	☎ 542-0081	大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
名古屋営業所	☎ 052-332-1701	☎ 460-0022	名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
富山営業所	☎ 076-444-5260	☎ 930-0005	富山市新桜町6-15 (Toyama Sakuraビル)
京滋営業所	☎ 075-595-7761	☎ 607-8085	京都市山科区竹鼻堂/前町46-1 (京都山科ビル)
姫路出張所	☎ 079-226-5727	☎ 670-0965	兵庫県姫路市東延未一丁目1番地 (姫路NKビル)
岡山営業所	☎ 086-214-1852	☎ 700-0034	岡山県岡山市北区高柳東町10-30
広島営業所	☎ 082-286-2811	☎ 732-0802	広島市南区大州3-4-1
高松営業所	☎ 087-869-2585	☎ 761-8075	高松市多肥下町1511-1 (サンフrawー通り東ビル1)
福岡営業所	☎ 092-938-8222	☎ 811-2317	福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716

<https://www.dnt.co.jp/>

関連法規

危険物表示	—
有機溶剤区分	—
有害物表示	SDS参照
劇物表示	—

※1 左記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

※2 各つやの数値については別途お問い合わせ下さい。

※3 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5～10%増やして下さい。

※4 標準使用量は実測値に基づき算出しています。
また被塗物の形状などにより標準使用量は変動します。